



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

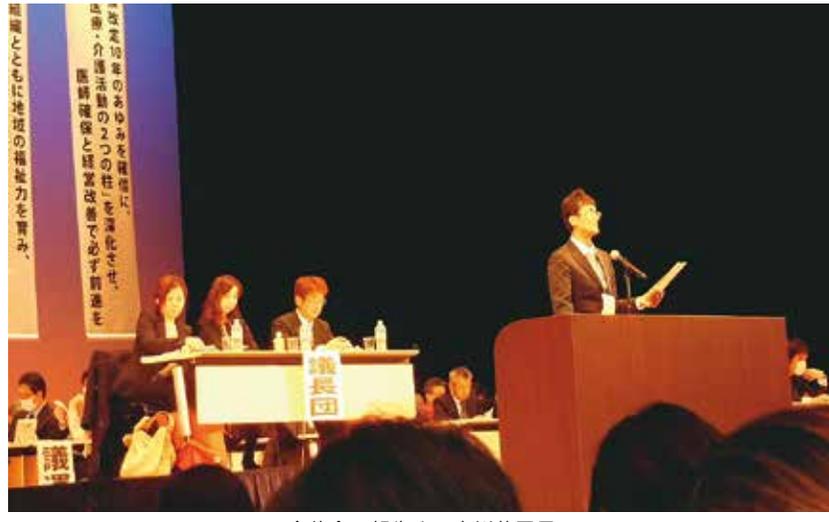
■ 第 146 号 ■

全日本民医連 第44回定期総会 in 熊本

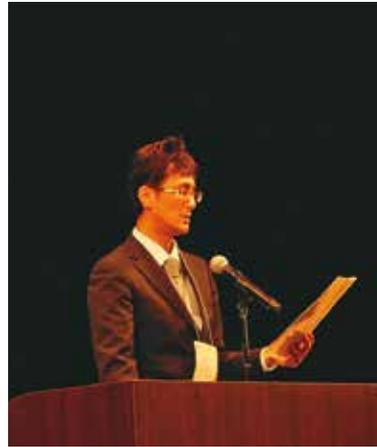
黒石薬局 薬局長 大川 誠也

2月20日(木)〜22日(土)にかけて、熊本市にて全日本民医連第44回定期総会が開催され、コロナウイルスの問題から、ホテルを出る際や会場に入る際は全員検温が実施される厳戒態勢の中、ファルマ代表として参加しました。

オープニング企画では熊本地震での様子や、支援への感謝、復興の様子などが報告され、2日目の朝、熊本城にも実際行きました。また震災の爪痕は多くの場所に残っていました。大会は3日間行われ、605名の代議員と50名ほどの共同組織の方々が参加し、1日目と3日目に全体会を、2日目には50名ずつほどに分かれ分散会が開かれました。



全体会で報告する大川薬局長



700名の聴衆の前で報告

私は1日目の全体会で「地域に根差した薬局として薬剤部門の事例紹介」の題で、黒石薬局を進めている健康サポート薬局活動の紹介を、2日目の分散会ではファルマの綱領学習について「民医連綱領と歴史を学ぶ大運動」の題で報告しました。全体会での発表は総勢70人ほど

の聴衆の前での報告となり、ナマラナイよう細心の注意を払い、民医連の薬剤活動部門を強化してきました。※こちらの「」の部分強化します」という言い方が定期総会ではやりのようです。全体会や分散会でも良く出された話が、医師確保問題、経営問題、職員育成でした。その他各県の特徴のある発表として、北海道での公立病院再編統合による医療崩壊について、京都では市長選の取り組みなど、その他ハビリ、歯科部門が予想以上に報告されていたと感じました。東京などでは外国人に対する支援活動はこれからの日本中どこでも起きていくだろうと参考になりました。

地域医療構想社内学習会

ファルマ弘前薬局 薬剤師 菅原 実牙樹

2月19日(水)、ファルマ弘前薬局で高松副社長による「地域医療構想社内学習会」が行われ、津軽地域医療の抱えている問題についてお話がありました。

現在の津軽地域医療は医師、看護師、薬剤師が不足している大変な状況です。ある病院では入院の需要はありますが、医療スタッフが足りない為に常に5〜8人の患者様が待機している状況にあり、病床業務を上手く回せていない問題があるように感じました。

救急医療も似たような状況です。研修医制度も変わり、地元に残らない医師が増えてしまったことや、開業医の高齢化の影響で減ってきているという問題があります。開業医の減少により、その門前の薬局、地域包括ケアにも打撃がくると思います。今後、国立病院と市立病院の統合と周辺自治体病院の機能転換と病床再編で特定病院に救急が集中する恐れがあり、その中で医療従事者の不足とその対策をどうする

写真紹介 弘前市との懇談

2月14日(金)弘前地区消防事務組合会議室で津軽保健生協主催の「身寄りのない方、虐待が疑われるケースへの対応に関する懇談会」が開催され、ファルマからは3名が参加しました。身寄りのない方の対応についてガイドライン等の検討状況や虐待が疑われるケースの通報・相談件数と対応状況についての現状を共有しました。



懇談会の様子

青森民医連 医学対大運動

2月24日(月)〜26日(水)にかけて、弘前高校前で青森民医連医学対大運動が開催され、受験生へ向けて奨学生に関するチラシ配布や対話アンケートなどを行いました。ファルマからは7名が参加し、受験生へ積極的に声がけをしました。



立崎さん(左)は対話アンケート頑張りました!



高松副社長が講師を務めました

のか、懸念される問題は山積みです。高松副社長がお話されたように、この地域医療構想は他人事ではありませんが、自分たちの地域の現状を常に把握しておくべきだと改めて考えさせられました。

地協事務幹部学校 in宮城

ファルマ弘前薬局 水木 孝之

2月12日から3日間、宮城県岩沼リゾートにて北海道・東北地協事務幹部学校の第4クールが開催されました。いよいよ最後の幹部学校となり、定期総会運動方針(案)の学びを深めたり、共同組織とまちづくりを学んだり充実した3日間となりました。

東日本大震災の復興の現状と課題を学び、被災者の復興感に地域ごとに格差があり、まだまだ復興が進んでいない現状を知りました。復興感の高まりが足りない要因は様々です。その中でもコミュニケーションが分断され、経済も停滞し、想像通りに住まい形成も進まなかったことが大きな要因のようです。

「全世代型社会保障で介護はどうなる!？」

ファルマ弘前薬局

主任補佐 須藤 江利加

2月15日(土)ファルマ本社大会議室で行われた、弘前市の介護保険を良くする会主催の学習会に参加しました。今回の講師は弘前市議の石田久氏で、学習会の中身について市内の多くの介護事業所が注目している学習会とのことでした。

弘前市周辺で起こっている介護の実態は、想像していたよりも大変過酷な状況となっており、退院後の受け入れ施設があったとして

コミュニティの形成(まちづくり)は民医連の目指すところの一つです。今回の第4クールでは、共同組織とまちづくりに重きを置いた内容が多く、全国の共同組織の取り組みと役割についての講義や、地域を起

点(基点)とした社会保障運動とまちづくりについての講義やグループワークに多く時間を掛けました。民医連の成り立ちを改めて学び、地域から信頼され、必要とされてこそその共同組織であり、地域と密接な関わりが絶対的に必要であることを参加した皆で確認しました。

また、民医連ではない外部の講師を招き「新自由主義改革」による社会保障

制度改悪と地域での運動をテーマに講義を受け、定期総会運動方針(案)の内容を加味して我々民医連の役割を再確認しました。

最後に全日本の阿南副会長より定期総会運動方針(案)を軸とし、事務幹部への期待についてお話をいただき、各々が決意表明をして卒業となりました。

このような貴重な研修に参加させていただいたことをありがたく思うとともに、学んだことを皆様に還元して行けるよう尽力いたします。



すべてのクールが終了

す。今回学んだことを、家族や友人、身の周りの人に伝え、今のままではいけないという声を広めていくことが大事だと感じました。



気になる点について質問する須藤補佐(中央)

新人紹介



藤代薬局 さいとう えり 齋藤 絵里

1月27日付で藤代薬局に入社しました。齋藤絵里と申します。趣味は手芸で少し前までつまみ細工

にはまって、休日はドラマやアニメを見ながらちまちまつくっていました。調剤薬局に勤めるのは初めてでわからないことばかりですが、やさしい先輩たちに丁寧に教えていただいています。私も一日でも早くファルマの一員として役に立てるように一生懸命頑張りますので、これからよろしくお願ひ致します。

ファルマ弘前薬局 立崎 天之介

わたしのお気に入り

みなさんこんにちは。自称映画評論家の立崎です。私は最近、海外ドラマにドハマりしています。今回は、昨今世間を騒がせている“違法薬物”をテーマにした“Breaking Bad”という作品を紹介したいと思います。

この作品は、末期の癌を患いながらも家族の為に短期間で莫大な資金を残したい平凡な化学教師と、ドラッグ中毒でお先真っ暗のヤンキー生徒が主人公の5シーズンに渡る長編ドラマです。

主人公の化学教師は、家族のお金の為に自らの知識をフル活用して裏社会で希少な薬物の製造方法を編み出してしまいます。しかし売買ルートに当てがなく売ることができません。そこで目を付けたのがドラッグに溺れた生徒です。最初はただ作るだけ、販売や裏社会とは一切関りをもたない、ただ家族を守りたいだけ、と豪語していた化学教師でしたが、自らが製造した薬物は想像以上の出来栄で信じがたいほどの大金を得てしまう・・・。家族への愛と突然の大金に心が揺らぐ彼の結末はいかに!!



立崎さんのおすすめBreaking Bad

裏社会の闇と人間の本能が事細かに描かれたこの作品、ぜひ観てみてください。
注) ドラマにハマっても薬物には絶対ハマってはいけません。ダメ。ゼッタイ。

写真紹介

ファルマ弘前薬局 健康教室

2月17日(月)ファルマ弘前薬局待合室で健康教室を開催しました。講師は菅原薬剤師で「冬の肌トラブル」のメカニズムと対策について話しました。10項目のチェックシートを用いて、分かりやすく説明しました。



お肌についてわかりやすく説明しました

津軽保健河西支部へ 出張出前講座

2月7日(金)つがる地球村で津軽保健河西支部主催の出張出前講座が開催されました。ファルマ ーツ谷薬局の安田薬剤師が「薬の正しい知識、サプリメントの付き合い方」について話し、藤代薬局の三上さんがイスに座ってできる健康体操を行いました。「優しい話し方で良かった」「体操が楽しかった」など、うれしい感想がありました。



終始明るい雰囲気で開催されました

コープあおもり西こーぷ委員会へ出張出前講座

2月18日(火)城西老人センターでコープあおもり西こーぷ委員会主催の出張出前講座が開催されました。参加者は20名で、ファルマ弘前薬局の小田切薬剤師が「お薬について」をテーマに話しました。講義終了後もお薬や健康に関する質問が多くありました。



質問に丁寧に答える小田切薬剤師

コープあおもり弘前地域へ出張出前講座

2月26日(水)コープあおもり和徳店でコープあおもり弘前地域主催の出出張出前講座が開催されました。講師はファルマ弘前薬局の藤田薬剤師で「お薬のおはなし」をテーマに、ジェネリックやお薬手帳のことなど詳しく話しました。



わかりやすかったと好評でした